

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和6年12月10日(2024.12.10)

【公開番号】特開2023-82317(P2023-82317A)

【公開日】令和5年6月14日(2023.6.14)

【年通号数】公開公報(特許)2023-110

【出願番号】特願2021-196002(P2021-196002)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00(2006.01)

10

G 06 F 3/12(2006.01)

B 41 J 29/38(2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 1 2 7 B

H 04 N 1/00 9 1 2

G 06 F 3/12 3 0 3

G 06 F 3/12 3 5 3

G 06 F 3/12 3 6 7

B 41 J 29/38 2 0 1

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月28日(2024.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部から受信した印刷ジョブに対応するデータを保存する保存処理を行い、前記保存処理で保存されたデータがユーザによるオペレーションが行われたことに従って出力されるように管理する第1の出力管理機能と、

前記保存処理を行い、前記保存処理で保存されたデータが出力されるように管理する機能であって、前記第1の出力管理機能とは異なる第2の出力管理機能と、

を含む複数の出力管理機能を実行可能な処理手段と、

所定の条件を満たす印刷ジョブをいずれの出力管理機能で取り扱うかをユーザ操作に基づき設定する設定手段と、

前記所定の条件を満たす印刷ジョブを受信した場合に、前記設定手段で設定された出力管理機能で前記受信した印刷ジョブに対応するデータが取り扱われるよう制御する制御手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記所定の条件を満たす印刷ジョブは、IPP(Internet Printing Protocol)に則った印刷ジョブであって、Hold-Jobオペレーションが指定された印刷ジョブであることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記設定手段で、前記所定の条件を満たす印刷ジョブをいずれの出力管理機能でも取り扱わないことを示す設定がなされている場合であって、前記所定の条件を満たす印刷ジョブを受信した場合、前記制御手段は、前記受信した印刷ジョブを破棄することを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

40

50

【請求項 4】

前記設定手段によって前記所定の条件を満たす印刷ジョブをいずれかの出力管理機能で取り扱うことを示す設定がなされている場合に、IPPに則ったクライアント端末に対してJob-Storageをサポートしていることを示す属性情報を提供する提供手段を更に有し、

前記設定手段で、前記所定の条件を満たす印刷ジョブをいずれの出力管理機能でも取り扱わないことを示す設定がなされている場合、前記提供手段は、IPPに則ったクライアント端末に対して前記Hold-Jobオペレーションをサポートしていることを示す属性情報を提供しないことを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記設定手段によって前記所定の条件を満たす印刷ジョブをいずれかの出力管理機能で取り扱うことを示す設定がなされている場合、前記提供手段は、ベンダー定義の属性情報をとして、前記第1の出力管理機能及び第2の出力管理機能をサポートすることを表す属性情報を更に提供することを特徴とする請求項4に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記所定の条件を満たす印刷ジョブを受信した場合であっても、前記印刷ジョブに前記提供手段が提供したベンダー定義の属性情報に対応する設定情報であって、出力管理機能を特定する設定情報が含まれている場合、前記制御手段は、当該設定情報に基づき特定された出力管理機能に対応付けて前記受信した印刷ジョブに対応するデータが管理されるよう制御することを特徴とする請求項5に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記複数の出力管理機能には、前記IPPに則った印刷ジョブのデータを管理、出力する目的で設けられた第3の出力管理機能がさらに含まれていることを特徴とする請求項2乃至5のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

読み取り手段をさらに有し、

前記第1の出力管理機能は原稿を前記読み取り手段で読み取ることで得られたデータに基づくビットマップ形式のファイルと、外部から受信した印刷ジョブのデータをビットマップ形式に変換したファイルとを管理する出力管理機能であり、

第2の出力管理機能は、外部から受信した印刷ジョブをストレージに一時的に留め置く機能であり、当該第2の出力管理機能は、前記ストレージに一時的に留め置いた印刷ジョブのうち、前記画像処理装置にログインしたユーザの印刷ジョブを抽出し、当該抽出した印刷ジョブの一覧を含む選択画面を表示し、印刷対象を選択するユーザ操作を受け付ける機能を提供することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記設定手段で前記第1の出力管理機能で取り扱う設定がなされている場合は前記受信した印刷ジョブに対応するデータが前記第1の出力管理機能で取り扱われ、

前記設定手段で前記第2の出力管理機能で取り扱う設定がなされている場合は前記受信した印刷ジョブに対応するデータが第2の出力管理機能で取り扱われる

ことを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記設定手段で前記第1の出力管理機能で取り扱う設定がなされている場合は前記受信した印刷ジョブに対応するデータが前記第1の出力管理機能に対応する保存領域に保存され、

前記設定手段で前記第2の出力管理機能で取り扱う設定がなされている場合は前記受信した印刷ジョブに対応するデータが第2の出力管理機能に対応する保存領域に保存される

ことを特徴とする請求項1乃至9のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

外部から受信した印刷ジョブに対応するデータを保存する保存処理を行い、前記保存処理で保存されたデータがユーザによるオペレーションが行われたことに従って出力される

10

20

30

40

50

ように管理する第1の出力管理機能と、

前記保存処理を行い、前記保存処理で保存されたデータが出力されるように管理する機能であって、前記第1の出力管理機能とは異なる第2の出力管理機能と、

を含む複数の出力管理機能を実行可能な画像処理装置の制御方法であって、

所定の条件を満たす印刷ジョブをいずれの出力管理機能で取り扱うかをユーザ操作に基づき設定する設定工程と、

前記所定の条件を満たす印刷ジョブを受信した場合に、前記設定工程で設定された出力管理機能で前記受信した印刷ジョブに対応するデータが取り扱われるよう制御する制御工程と、

を有することを特徴とする画像処理装置の制御方法。

10

【請求項12】

コンピュータを、請求項1乃至11のいずれか1項に記載された画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項13】

コンピュータを、請求項1乃至11のいずれか1項に記載された画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラムを格納した、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は上述の問題点を鑑みなされたものである。本発明の1つの側面としては、印刷ジョブを保存する際のユーザの利便性を高めることを目的の1つとする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記の少なくとも1つの目的を達成するために、本発明の1つの側面としての画像上処理装置は、

外部から受信した印刷ジョブに対応するデータを保存する保存処理を行い、前記保存処理で保存されたデータがユーザによるオペレーションが行われたことに従って出力されるよう管理する第1の出力管理機能と、

前記保存処理を行い、前記保存処理で保存されたデータが出力されるように管理する機能であって、前記第1の出力管理機能とは異なる第2の出力管理機能と、

を含む複数の出力管理機能を実行可能な処理手段と、

所定の条件を満たす印刷ジョブをいずれの出力管理機能で取り扱うかをユーザ操作に基づき設定する設定手段と、

前記所定の条件を満たす印刷ジョブを受信した場合に、前記設定手段で設定された出力管理機能で前記受信した印刷ジョブに対応するデータが取り扱われるよう制御する制御手段と、

を有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 1 3 】

本発明の 1 つの側面によれば、印刷ジョブを保存する際のユーザの利便性を高めることができる。

10

20

30

40

50